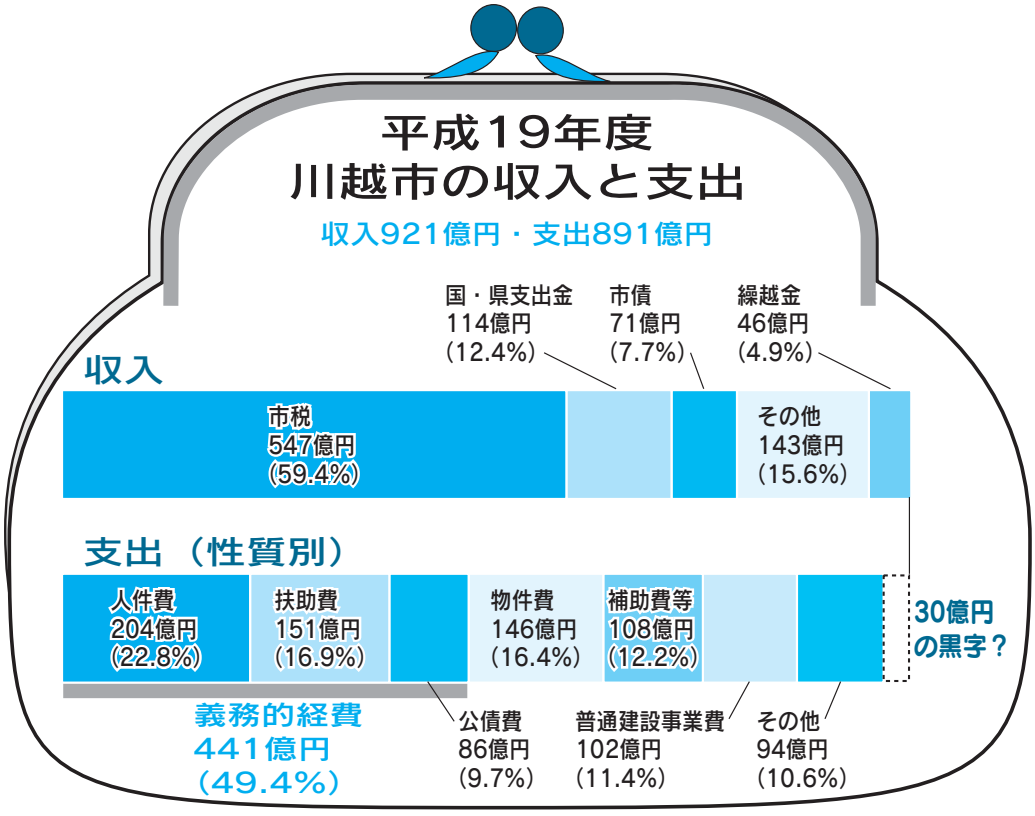
川越市の財政事情

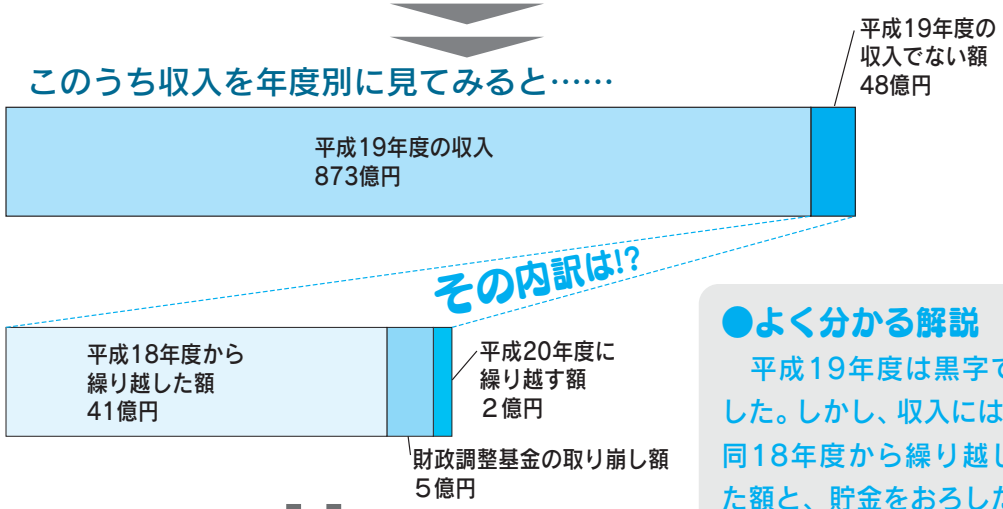
財布の中身

その一

市では年二回、財政事情（予算の執行状況等）を公表しています。今回、財政の状況をもっと身近に感じてもらうため、平成19年度「普通会計」決算をベースに、二回に渡って、できるだけ「分かりやすく」、財政状況をお知らせします。

財政課…TEL224-5618





収支の差額（黒字額）30億円 － 平成19年度の収入でない額 48億円 ＝ **18億円の赤字**

●よく分かる解説

平成19年度は黒字でした。しかし、収入には、同18年度から繰り越した額と、貯金をおろした額と、同20年度の支払いのために取っておく額が含まれています。これらを除くと、実は赤字だったことになります。

会計とは？

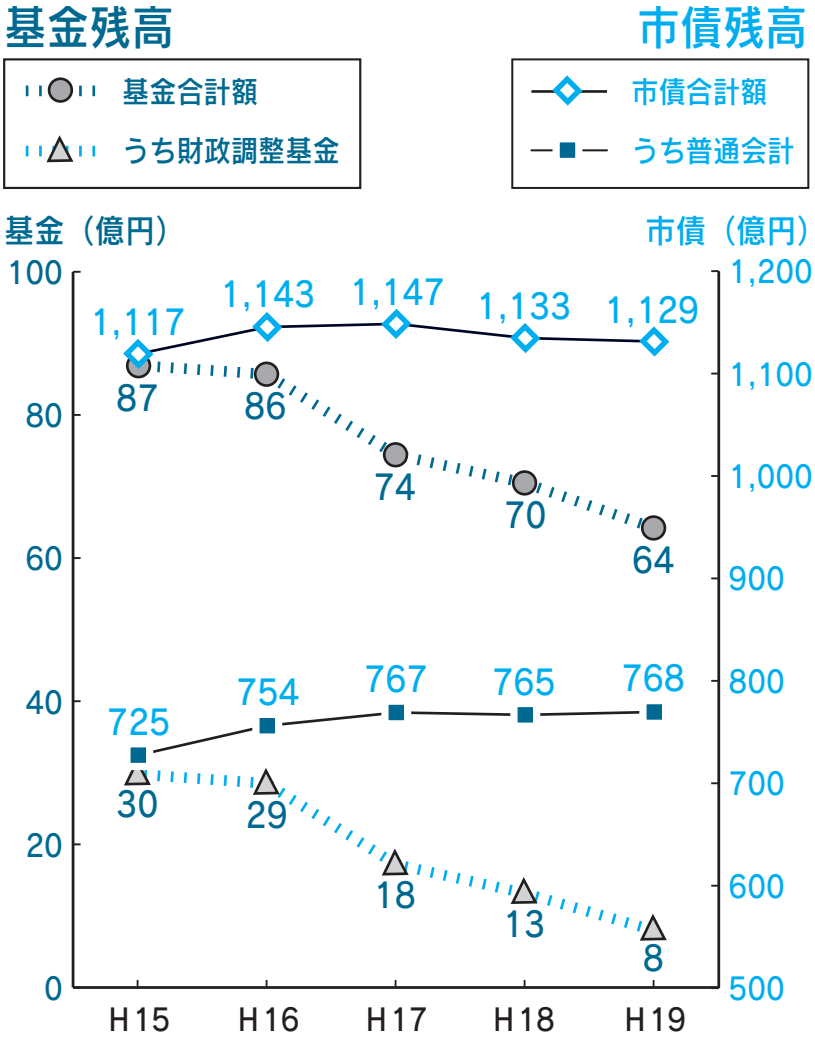
家族が別々に財布を持つように、市も独立してやりくりを行う財布があります。これを「会計」といいます。「一般会計」とは、市の基本的な経費をやりくりする、根幹となる財布です。「特別会計」とは、特定の事業を行う場合、そこから発生する収入を事業の支出にあてて、独立したやりくりをする財布です。

普通会計とは？

「普通会計」とは、統計上の会計で、各自治体の財政比較を統一的な基準で比較できるようにしたものです。川越市の普通会計は、一般会計と、特別会計の診療事業会計・母子寡婦福祉資金貸付事業会計および西口土地区画整理事業会計（平成19年度末で廃止）で構成されています。

川越の財政は？

平成19年度の収支は、約三十億円の黒字です。しかし、これには同年度の収入でない額（約四十八億円）が含まれています。この額を除くと同年度だけの収支の実際は、約十八億円の赤字です。



●川越市の基金の状況

市民１人あたりの平成19年度基金残高は19,435円。中核市（39市）の中では、残高の多い方から数えて35番目です。中でも財政調整基金は、同15年度に30億円あったものが、同19年度では、４分の１程度の８億円となっています。これは、同17年度から三位一体の改革などによる財源の落ち込みを補うため、取り崩しを行った影響です。

●川越市の市債の状況

市民１人あたりの平成19年度普通会計市債残高は232,317円。中核市の中では、残高の少ない方から数えて５番目です。普通会計とそれ以外の会計を合わせた、市全体の市債残高は1,129億円。市民１人あたりの市債残高は341,635円です。

＊市民１人あたりの残高は、平成19年度末における住民基本台帳人口（330,414人）で算出しました。

川越の貯金は？

一般家庭の貯金にあたるものとして、市には、「基金」があります。将来に備えて積み立てておいて、財源が不足する年に使ったり、施設の建設など特定の目的に使ったりしています。市には、年度間の財源調整に使う「財政調整基金」や、職員の退職手当の財源に充てる「職員退職手当基金」などの基金があります。

上のグラフは平成15年度から同19年度までの、財政調整基金と、十の基金残高の推移を表しています。市では、財政規模などを考えると、財政調整基金では、三十億円程度の積立が必要と考えています。しかし、同19年度の残高は、必要とされる積立額に対して四分の一程度の八億円しかありません。

川越の借金は？

公共施設や道路などを整備すると、一時的に多額の支払いが発生します。単年度で支払うことが難しい場合、その不足を補うために、市は国・県・銀行などから借金をします。これを市債といいます。市債は、一般家庭でいうと住宅ローンです。

市債には一時的な不足を補うだけでなく、もう一つの役割があります。それは、公共施設や道路など、将来に渡って利用する物を、将来の市民にも分割して負担してもらう、「世代間負担」です。市では、現在の負担額と将来の負担額のバランスを取りながら、計画的に市債を活用するように努めています。

上のグラフは平成15年度から同19年度までの、普通会計と市全体の市債の残高を表しています。残高が大きく増加したのは、同16年度。これは、菅間学校給食センターの用地取得や建設費の支払いをするため、多くの借金をしたことが原因です。

ほかにも支払いが？

このほかにも、市が将来に渡って支払わなければならないものとして、債務負担行為があります。本来、市の予算は単年度で完結するのが原則です。これに対し、将来に渡る支払いをあらかじめ約束する仕組みが、債務負担行為です。例えば、複数年に渡る施設管理の委託契約は、債務負担行為を行っています。

平成19年度の普通会計で、債務負担行為として翌年度以降に支出を予定している額は、百七十九億円です。この額と普通会計の市債残高を合わせると、九百四十七億円です。

このように、市の財政は余裕のない状況になっています。

次回（5月25日発行の広報川越）は、平成19年度普通会計決算を、家計に例えて説明します。また、市の「健康状態」についても解説します。